富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM

富山県東部からのナガレヒキガエルの記録

著者	福田 保, 南部 久男
雑誌名	富山市科学博物館研究報告
号	34
ページ	139-140
発行年	2011-03-15
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=934

富山市科学博物館研究報告第34号，pp.139-140；(2011)

短　報

富山県東部からのナガレヒキガエルの記録*

福田　保[1)]・南部　久男[2)]
[1)] 富山南高等学校　〒939-8191 富山市布市98
[2)] 富山市科学博物館　〒939-8084 富山市西中野町1-8-31

A new record of *Bufo torenticolla* in eastern Toyama, Japan.

Tamotsu Fukuda[1)] and Hisao Nambu[2)]
[1)] Toyama-minami Senior High School,
98 Nunoichi, Toyama-shi, Toyama 939-8084, Japan
[2)] Toyama Science Museum,
1-8-31, Nishinakano, Toyama, 939-8084, Japan

ナガレヒキガエル *Bufo torenticolla* は、中部地方、近畿地方の山地に生息し、渓流で繁殖するカエルである（前田・松井,1999）。富山県中央部や岐阜県東部は本種の東の分布域にあたる（南部・福田,1993；山田,1991.1992）。富山県での本種の生息地は少なく、本県での東限は、富山市大山地域長棟川であったが（南部・福田,1993）、今回、2カ所の地点で確認され、そのうち1カ所は、本県の東限を更新する地点であったので報告する。

確認状況

ナガレヒキガエルが確認された2カ所の確認状況を記す。

確認場所1：富山市大山地域熊野川上流（標高390m、図1）。
年月日：2010年5月8日
状況：熊野川上流の砂防堰堤左岸側の淀みで、オス４個体、卵塊1個体分を確認した。

確認場所2：富山市大山地域有峰の小口川林道（標高1,400m、図1、図2）。
年月日：2010年8月6日、15時:37分
状況：小口川林道（片側が山の斜面、反対側が小口川の崖の斜面）の道路上で筆者の一人福田が確認した。

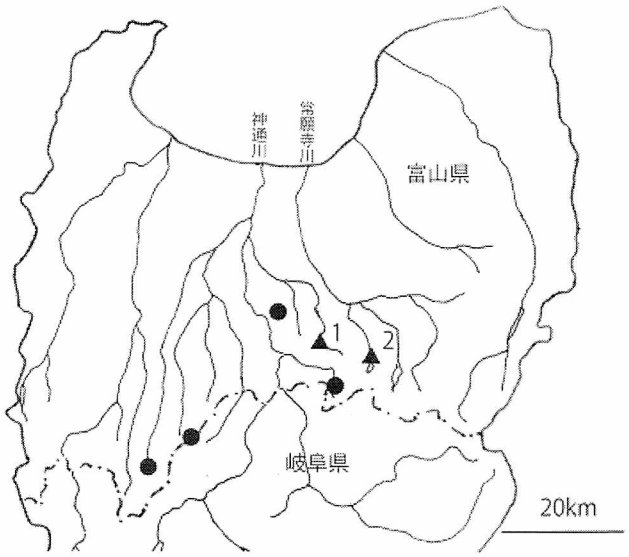

図１　富山県のナガレヒキガエルの新産地（▲；1熊野川上流，2小口川林道）。

今回発見された5個体の生体の体長に対する鼓膜長の割合は、Matsui（1984）による、ナガレヒキガエルの割合（4.1％未満）の範囲内にあった（表1,図3）。神通川水系野積川では、形態的に（体長に対する鼓膜長の割合）、ナガレヒキガエルとアズマヒキガエルの雑種が出現することが知られ（南部ら,2002）、体長に対する鼓膜長の割合がナガレヒキガエルあるいはアズマヒキガエルの範囲内であっても、遺伝的に雑種個体が出現することが知られている（Yamazaki et.al.,2008）。今回発見された個体は、形態（体長に対する鼓膜長の割合）によりナガレヒキガエルと同定されたが、遺伝的な解析も必要と思われる。

表１　ナガレヒキガエルの計測値

熊野川上流

No	雌雄	体長	鼓膜長	鼓膜長／体長
1	オス	104.97	4.16	3.96%
2	オス	103.74	3.41	3.29%
3	オス	93.14	3.14	3.37%
4	オス	105.75	2.75	2.60%

小口川林道

No	雌雄	体長	鼓膜長	鼓膜長／体長
1	オス	103.80	3.9	3.75%

単位は mm

＊富山市科学博物館研究業績第414号

富山県での本種の生息地は、神通川水系等で知られ、長棟川が分布の東限であった（南部・福田,1993）。今回発見した2地点の内、1カ所は神通川水系の東側の常願寺川水系に含まれ、本県の本種の東限を更新するものである（図1）。

図２　ナガレヒキガエルの発見場所（小口川林道）

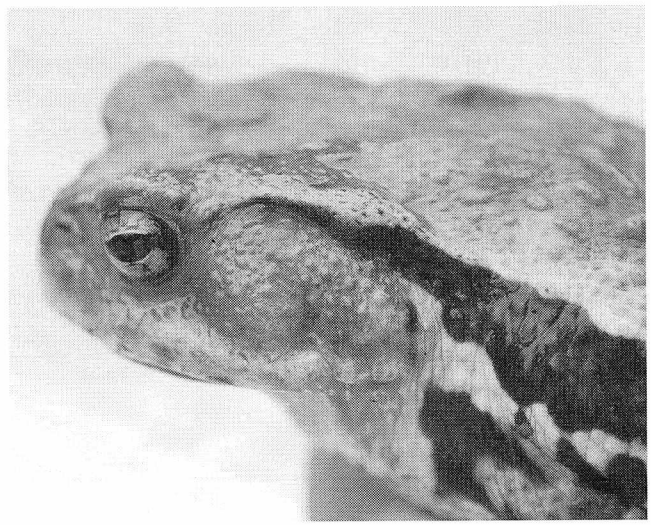

図3　小口川林道のナガレヒキガエル（上は全身、下は頭部）

謝辞

文献をご教示いただき、岐阜県のナガレヒキガエルの生息状況を教えていただきました、山田和生、高木雅樹の両氏に心よりお礼申し上げます。

文献

南部久男・福田保，1993. 富山県大山町からのナガレヒキガエルの記録.富山市科学文化センター研究報告，16:103-104

南部久男・福田保・荒木克昌，2002. 渓流におけるヒキガエル類の繁殖生態Ⅰナガレヒキガエルとアズマヒキガエルの雑種の出現.両生類志．9:15-24.

前田憲男・松井正文,1999.改訂版日本カエル図鑑.文一総合出版．223pp.

Matsui, M., 1984. Morphometric variation analysis and revision of the Japanese toads (Genus *Bufo,* Bufonidae). Contrib. bio. Lab. Kyoto Univ. 26: 209-428.

山田和生，1991. 岐阜県内のナガレヒキガエルの分布. 生物教育．35:28-29.

山田和生,1992.岐阜県における分水嶺以北の両生類相について．生物教育．36:30-40.

Yamazaki Y., Kouketsu S., Fukuda T., Araki T., and Nambu H., 2008. Natural Hybirization and directional intorogression of two species of Japanese Toads *Bufo japonicus* and *Bufo torenticola* (Anura: Bofonidae) resulting from changes in their spawning habitat. J. Herpetology. 42(3): 427-436.